



65号

第1回 1月11日(土) 「主婦が社長にそして落語家に」

主婦・実業家であり、落語家でもある桜喜さん。自身の経歴と共に、起業した経緯、落語家としての夢等のお話をききました。創作落語「働き方改革」を披露されました。

桜喜さん 千里山西在住



千里山この人

千里山に縁のある方を地域の皆さんに紹介する講座。シリーズ化して3回になります。今までの講座をまとめました。

第2回 10月10日(土)・11日(日) 「浪華(大坂)よもやま話」

大坂の歴史や地名の由来を判り易く、新旧のエピソードをおりませてもらいました。蔵屋敷は中之島に集中していた等々、江戸時代当時の様子が偲ばれました。「道修町辺りを散策したくなった。」「街歩きに参考にした。」「と、反響がありました。

深澤 恒夫さん くすりの道修町資料館 館長 千里山月が丘在住



第3回 11月14日(土) 「高松塚古墳発見の時 現場にいた考古学者」

藤原 学さん 元大阪学院大学国際学部教授 千里山東在住



高松塚古墳の彩色壁画発見時の率直な感想や、当時の様子を詳細に記した先生手書きのノートなど多くの貴重な資料をもとにしてお話しくいただきました。



ほっと一息 千三公民館と千三保育園の空き地が「癒しの空間」に！

境界線の草ぼうぼうの空き地を花壇と野菜作りに利用。道路と空地の境目の柵の上にポケモンのキャラクター人形と、小さなちびまる子ちゃんの人形があります。それらは園児たち(2〜5歳)の心を楽しませてくれてあります。子ども達にとってはアイドルでもあり、マスコットでもあります。毎朝「おはよう」帰りに「バイバイ」と言って挨拶しています。それを見て親達、大人達も癒されています。

今年春からコロナ禍の影響で、いろいろと制約や制限が加えられ、保育園児たちも大変な思いをさせられていて、良いニュースがありませんでした。「こんなところに...」。ちよっとした心配りや、アイデアがすごく生かされています。子ども達が喜んでいて、それを見て大人たちも癒される。と...感謝、感謝。(千二地区 森脇)



ギャラリー報告

ミモザグループ (11/11~20) お花が大好きな仲間が集まり、アクリル絵の具を使って木工や布地に描いて楽しんでいます。今回はピーターラビットを中心に花を添えて仕上げました。やわらかな空間が広がり、やさしい気持ちになりました。



ギャラリー予告

天彩クラブ (1/21~31)..... 絵画

コロナ対策のため 喫茶は当面の間お休みさせていただきます。コミュニティスペースもご利用になれません。申し訳ございません。



Table with 4 columns: Room Type, Capacity, Morning (9am-12pm), Afternoon (1pm-5pm), Evening (6pm-10pm). Rows include Meeting Room, Kitchen, Tatami Room, Studio, and Multi-purpose Hall.



編集後記~コミュちゃんのつぶやき~ 「ほっと一息」はコミュニティ協議会の役員さんに寄稿してもらっています。変わっていく千里山を惜しみつつ、身近な自然に心を寄せていらして千里山愛を感じます。私の千里山のイメージは竹ヤブ。母校千三小学校の校章は竹の葉っぱがモチーフだと聞いた事を思い出しました。(た)



千里山コミセンだよりの写真は、ご本人、団体の許可をいただいて掲載しています。◎年末年始の休館日◎ 12月23日(水)・29日(火)~1月3日(日)

